

## 1. 持続可能な交通ネットワークの確立

### (1) 公共交通ネットワーク

#### ① 基本的考え方

下線部：部会での主な意見を反映している箇所

##### 現状・課題

- 需要密度の高い区間に大量輸送機関（地下鉄・JR）を基軸として配置し、後背圏からのバスネットワークを各駅に接続することにより、都心に向かう広範な交通を大量輸送機関で処理
- 交通結節点では、複数の交通手段の乗り継ぎを円滑にするため、広場やターミナル等を整備
- 立地適正化計画に示す、公共交通を基軸とした各種都市機能の適切な配置を図る「コンパクトな都市」に対応した交通体系であり、現状では市街化区域のほぼ全域を公共交通網でカバーしている状況
- 近年、公共交通利用者数は緩やかな増加傾向にあるが、今後迎える人口減少・超高齢社会を見据え、持続可能な公共交通環境の形成が求められる

##### 今後の方向性

- 現況の公共交通ネットワークを活用し、市街化区域内の利用環境、都心へのアクセス性を確保
- 個々の公共交通機関の特性や役割に応じ、関係者間の相互連携を図りながら、乗継機能の強化やICTを活用した先進的な取組など、ハード・ソフト両面からシームレスな交通を確保していく
- 公共空間や車両の更なるバリアフリー化、インターネットやロケーションシステム等を活用した交通情報の提供など、質的充実を図っていく

#### ② 公共交通ネットワークの構成

##### ■ 骨格公共交通ネットワーク

- 札幌市の公共交通ネットワークの基軸として、市内及び周辺都市の拠点間を結ぶとともに、都心へ向かう交通を処理

種別	役割
地下鉄	積雪寒冷の気象条件に左右されず、速達性やエネルギー効率にも優れた大量輸送機関として、市内拠点間及び都心への輸送を担う
JR	長距離移動の速達性に優れた大量輸送機関として、市内拠点間のほか道内各都市間との輸送を担う
路面電車	人や環境にやさしく、魅力ある都心の創造に寄与する輸送機関として、都心や都心周辺部での利便性の高い生活を支える役割を担う

##### ■ バスネットワーク

- 市民の身近な移動を支える輸送機関として、市内各地域と地下鉄・JR駅等の拠点及び都心部等を結び、多様なニーズに応じたきめ細かな輸送を担う

種別	役割
フィーダー路線	地域の日常生活を支える地域内公共交通として、市内各地域と地下鉄・JR駅等の拠点を結び、都心等へ向かう広範な交通を大量輸送機関に接続する役割を担う
都心直行路線	骨格公共交通ネットワークを補完する路線として、市内各地域と都心部を結び、都心部に直接行くことができる乗継抵抗が少ない移動手段として、地域の需要に応じて運行

##### ■ タクシー

種別	役割
タクシー	個々の利用者のニーズに応じた機動性の高いドア・ツー・ドアの面的な輸送を担う 高齢者、体の不自由な方の重要な足であり、災害時の移動手段としても欠かすことのできない輸送機関

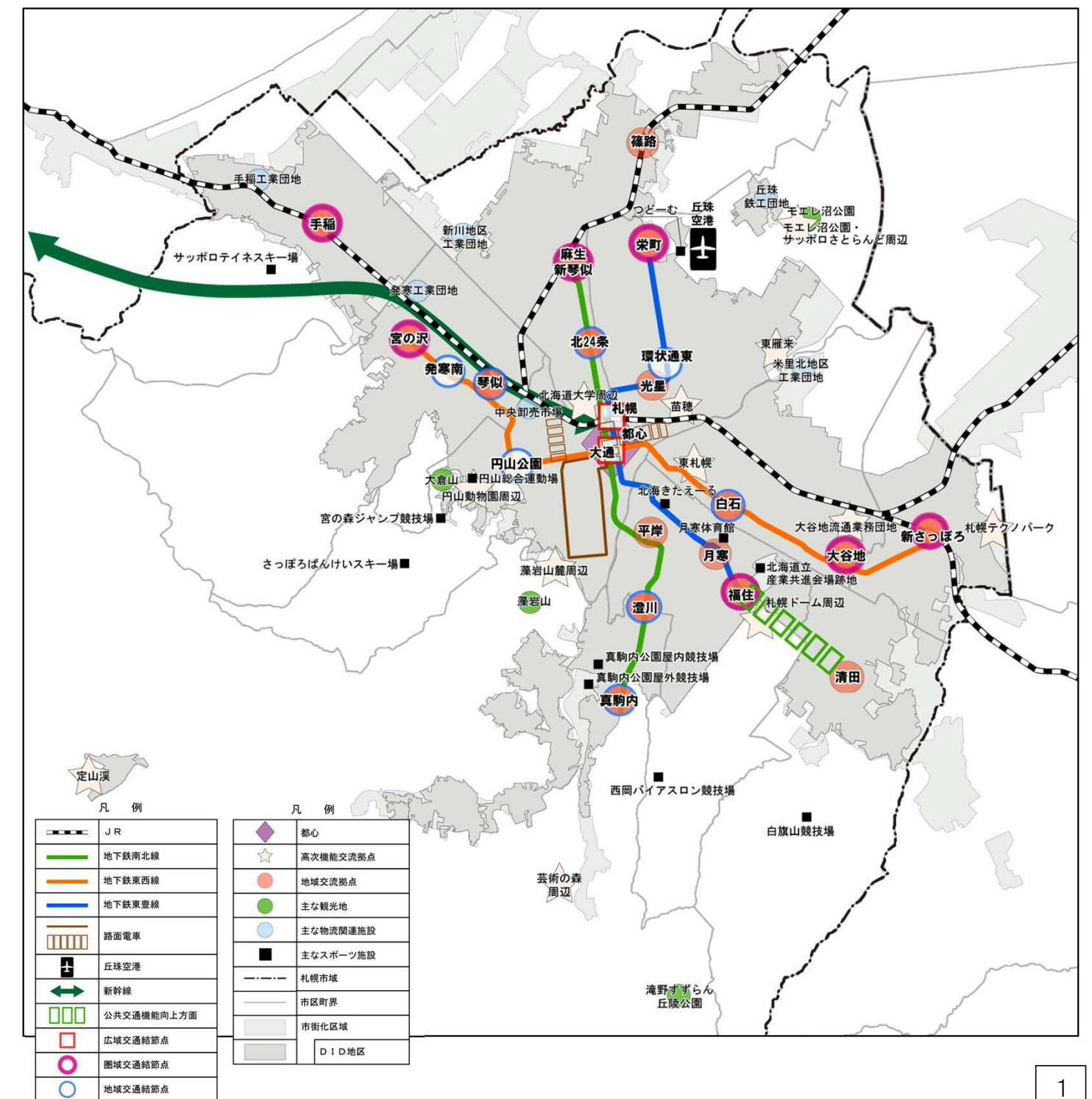
##### ■ 交通結節点

- 複数の交通機関が数多く接続する場所であり、ターミナル機能や拠点機能を有する交通の拠点
- 地下鉄・JR駅において、バスターミナルや駅前広場、駐輪場等の交通施設を整備することにより、円滑な乗り継ぎ環境を確保

種別	役割
広域交通結節点	北海道・札幌の玄関口として、北海道新幹線やJR、都市間バスなど広域交通ネットワークが接続する交通拠点
圏域交通結節点	周辺自治体からのゲートウェイとして、JRや市外路線バスが接続する交通拠点
地域交通結節点	後背圏の地域の日常生活を支える多くのフィーダー路線が接続する交通拠点

#### ③ 公共交通ネットワーク図

[骨格公共交通ネットワーク]



# 交通体系の基本的考え方 ～持続可能な交通ネットワークの確立～

## (2) 道路ネットワーク

### ① 基本的考え方

#### 現状・課題

- 都心への不必要な自動車流入を抑制するとともに、周辺都市や市内の拠点相互が有機的に連結することを基本として道路ネットワークを構成
- 都心部や主要な幹線道路の交差点周辺では、局所的・一時的な交通渋滞が発生
- 安全で快適な歩行環境を実現するため、自転車のルール・マナーの周知・啓発、走行環境・駐輪環境の整備が求められる

#### 今後の方向性

- 骨格道路網「2高速・3連携・2環状・13放射道路」の機能を強化
- 交通の分散化や交差点改良、道路空間の再配分など、既存道路をより有効に活用することで、自動車交通の円滑化や自転車利用環境の改善を図っていく

### ② 道路ネットワークの構成

#### ■ 骨格道路ネットワーク

- 道央都市圏の道路ネットワークの基軸として、札幌市内及び周辺都市の拠点間を結び、都市空間の形成や道央都市圏の均衡ある発展を支える

種別	役割
高速道路	・ 道内拠点間を結び、道内各都市間との連携を支える
連携道路	・ 道央都市圏の各都市間や空港・港湾等の拠点を結び、道央都市圏の地域間の連携を支える
環状道路	・ 都心部を中心に環状に配置された道路であり、都心への不必要な自動車流入を抑制し、地域間の交通の円滑化を図る
放射道路	・ 都心部から放射状に配置された道路であり、都心部と市内各地域や周辺都市を結ぶ
都心アクセス強化道路軸	・ 放射道路のうち、自動車の円滑性向上を重点的に図る道路軸として、空港・港湾施設や圏域内における拠点間の連携を支える

#### ■ 幹線道路ネットワーク

- 骨格道路ネットワークを補完し、札幌市内の主要な道路ネットワークを形成する地域の幹線道路であり、地域の拠点へのアクセスや各地域間を連絡するなど、市民生活や経済活動を支える

### ③ 道路ネットワーク図

[骨格道路ネットワーク]



凡例		凡例	
	高速交通体系 (高速道路等)		都心
	連携道路		高次機能交流拠点
	環状道路		地域交流拠点
	放射道路		主な観光地
	都心アクセス強化道路軸		主な物流関連施設
	丘珠空港		主なスポーツ施設
			札幌市域
			市区町界
			市街化区域
			DID地区

# 交通体系の基本的考え方 ～持続可能な交通ネットワークの確立～

## (3) 広域交通ネットワーク

### ① 基本的考え方

#### 現状・課題

- ▶ 国や北海道、周辺市町村等との連携により、道内の主要都市や観光地のほか、国内外の地域をつなぐネットワークとして、空港・港湾や、鉄道・高速道路・主要幹線道路などの広域交通機能確保
- ▶ 北海道の中核都市として道内各地域からの交通アクセスの利便性向上を図るとともに、国内・国外につながる多様な交通手段の提供、定時性の確保が求められている

#### 今後の方向性

- ▶ 広域分散型の地域構造を持つ北海道では、各交通機関の特性を活かし、相互に補完しながら、リダンダンシー（代替性・多重性）を確保した交通ネットワークを形成することが重要
- ▶ 北海道や鉄道・運輸機構、JR北海道との連携により、北海道新幹線の建設事業を円滑に推進
- ▶ 市民や有識者、関係者等との議論を深めながら、丘珠空港の利活用のあり方について検討し、丘珠空港の機能向上を促進
- ▶ 周辺まちづくりと連携し、札幌駅交流拠点等の交通結節点における乗継機能を強化
- ▶ 国や北海道、周辺市町村等と連携し、都心と高速道路間のアクセス強化検討など、骨格道路の機能を強化

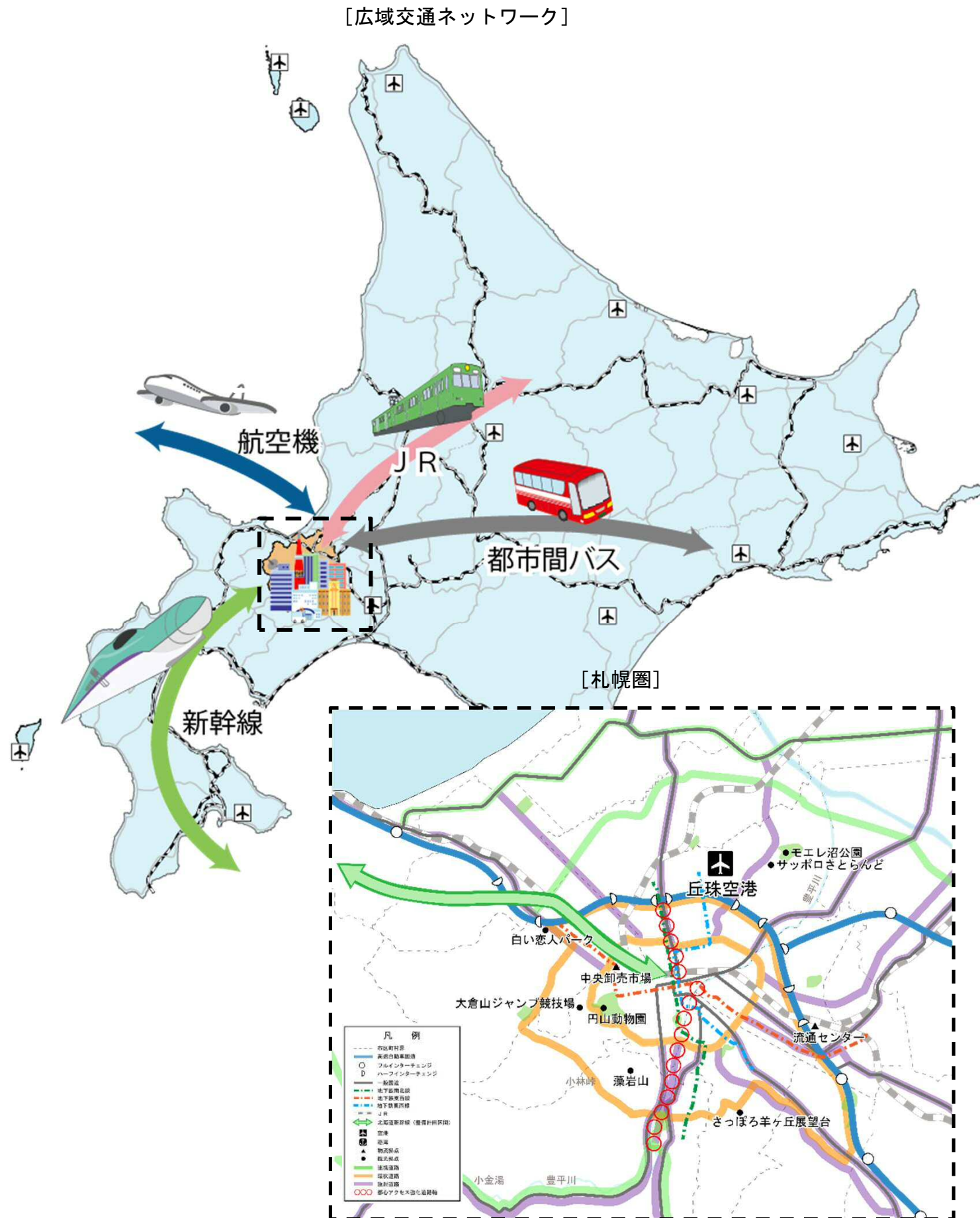
### ② 広域交通ネットワークの構成

#### ■ 広域交通ネットワーク

- ▶ 道内の主要都市や観光地のほか、国内外の地域をつなぎ、道央都市圏の暮らしや経済・観光などを支える広域的な交通ネットワーク

種別	役割
<b>&lt;公共交通ネットワーク&gt;</b>	
北海道新幹線	・ 東北、北関東圏、首都圏との新たな文化・経済交流を促進するとともに、道内経済を活性化させる重要な役割を担う
J R	・ 長距離移動の速達性に優れる大量輸送機関として、道央都市圏内の拠点間及び道内各都市間の輸送を担う
都市間バス	・ 中・長距離移動の地域間交通ネットワークとして、札幌市と道内各都市間の輸送を担う
丘珠空港	・ 高次都市機能が集積する札幌と地方主要都市を高速移動手段である航空機で結ぶ道内航空ネットワークの拠点及び道外都市とを結ぶ広域的な交通拠点
<b>&lt;骨格道路ネットワーク(再掲)&gt;</b>	
高速道路、連携道路、環状道路、放射道路（都心アクセス強化道路軸含む）	

### ③ 広域交通ネットワーク図



# 交通体系の基本的考え方 ～地域特性に応じた交通体系の構築～

## 2. 地域特性に応じた交通体系の構築

### (1) 都心

#### ① 基本的考え方

下線部：部会での主な意見を反映している箇所

##### 現状・課題

- 札幌の都心部は、高次な都市機能が集積し、北海道・札幌の経済をけん引する役割を担っている
  - 近年、チカホ等の整備により、都心部の魅力が向上し、来訪者は増加傾向にある
  - 札幌オリンピックを契機に建設された建物等の更新時期を迎え、2030年度末には北海道新幹線札幌開業が予定されており、これらの動きとも連動し、都市の魅力・活力向上を図っていく必要がある
  - 都心部では多くの交通モードが競合しており、様々な交通課題への対応が求められている
- 【自転車】歩道通行や路上駐輪による歩行環境の阻害  
 【歩行者】冬期のつるつる路面や段差等のバリア  
 【乗継施設】駅周辺の上下移動のバリア  
 【駐車場】供給過多、駐車場の出入口による街並みの分断  
 【荷捌き・観光バス】路上駐停車による交通阻害  
 【自動車】都心と高速道路間のアクセスが弱い、通過交通等による局所的な混雑

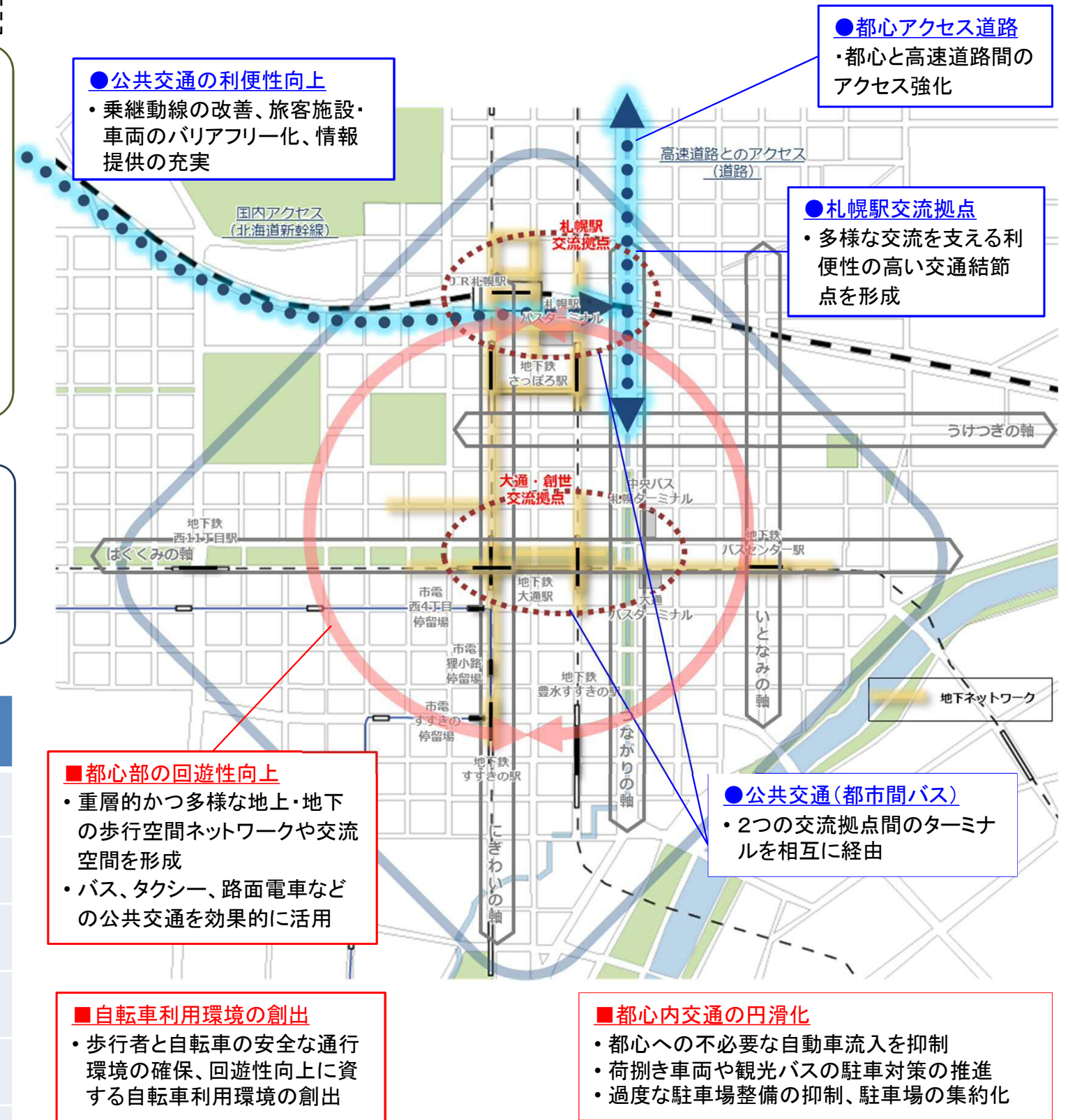
#### 今後の方向性

- 人を中心とした安全で快適な交通環境を形成
- 誰もが都心にアクセスできる利便性の高い交通ネットワークを形成
- 民間開発との連携や道路空間の再配分等により、都心部の限られた公共空間において必要な交通機能を効果的に確保

#### ② 交通モード・施設別の方向性

交通モード・施設	方向性
歩行者	誰もが安心して歩くことができる、重層的かつ多様な地上・地下の歩行空間ネットワークや交流空間を形成し、歩行者の回遊性を向上
公共交通 (乗継施設等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗継動線の改善、旅客施設・車両のバリアフリー化、情報提供の充実等による公共交通の更なる利便性向上</li> <li>北海道新幹線札幌開業を見据え、札幌駅交流拠点に多様な交流を支える利便性の高い一大交通結節点を形成</li> <li>都市間バスは2つの交流拠点間のバスターミナルを経由させることで、利用者の利便性向上や効率的なバス運行を実現</li> <li>回遊性を高めるため、バス・タクシー・路面電車などの公共交通を効果的に活用</li> </ul>
自転車	歩行者と自転車の安全な通行環境の確保や回遊性向上に資する、安全で快適な自転車利用環境の創出
自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心への unnecessary 自動車流入の抑制、公民連携による荷捌き車両や観光バスの駐車対策の推進により、都心内の交通を円滑化</li> <li>過度な駐車場整備の抑制や駐車場の集約化による、まちづくりと連携した駐車施策の展開</li> <li>道内各地域・交通拠点と都心とのアクセス性を向上するとともに、都心部の交通環境の改善に向け、国等の関係機関と連携し、都心アクセス道路を検討</li> </ul>

### ③ 都心交通概況図

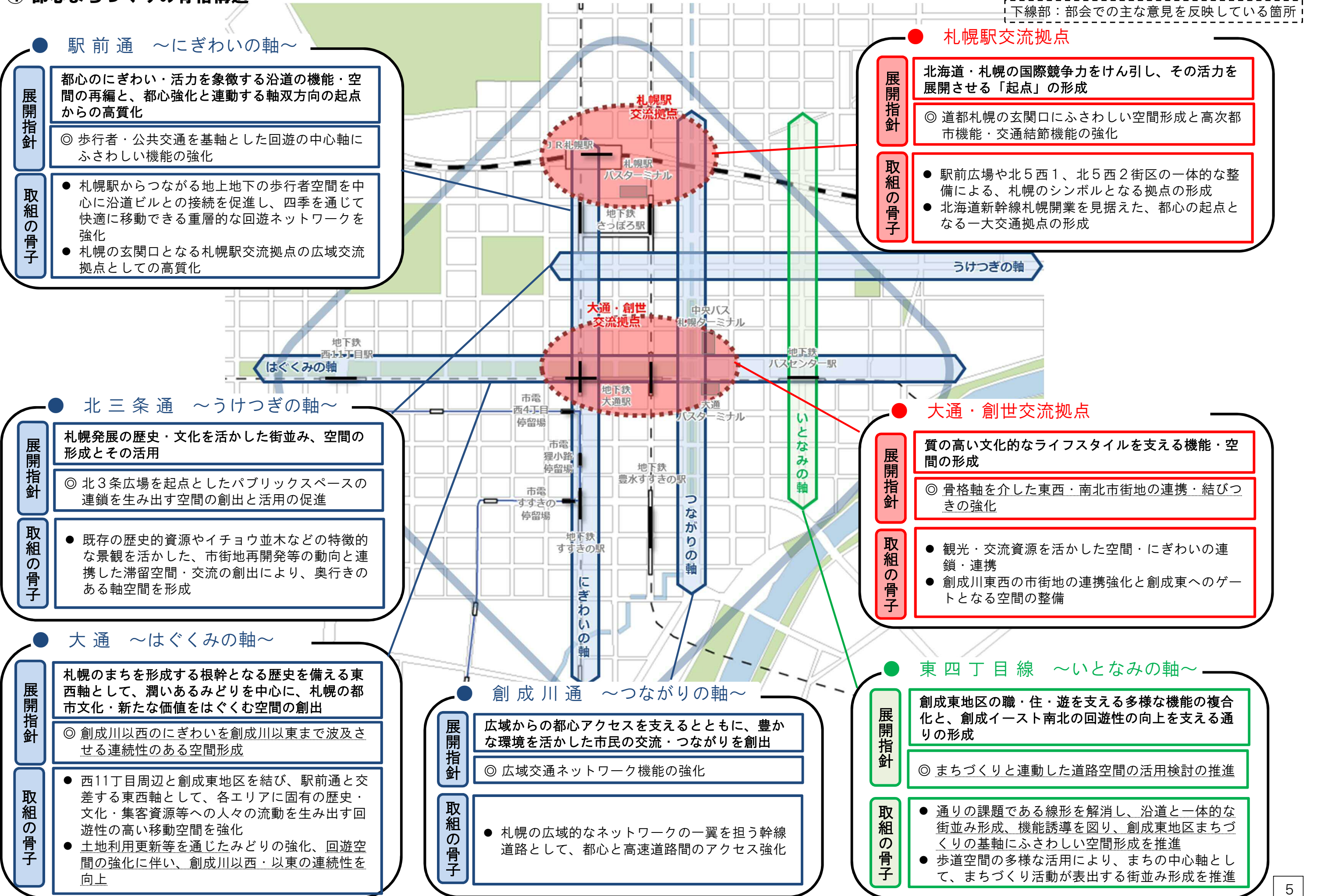


# 交通体系の基本的考え方 ～地域特性に応じた交通体系の構築～

## ④ 都心まちづくりの骨格構造

※展開指針と取組の骨子は交通に関する項目を抜粋

下線部：部会での主な意見を反映している箇所



### ● 駅前通 ～にぎわいの軸～

**展開指針**

- 都心のにぎわい・活力を象徴する沿道の機能・空間の再編と、都心強化と連動する軸双方向の起点からの高質化
- ◎ 歩行者・公共交通を基軸とした回遊の中心軸にふさわしい機能の強化

**取組の骨子**

- 札幌駅からつながる地上地下の歩行者空間を中心に沿道ビルとの接続を促進し、四季を通じて快適に移動できる重層的な回遊ネットワークを強化
- 札幌の玄関口となる札幌駅交流拠点の広域交流拠点としての高質化

### ● 札幌駅交流拠点

**展開指針**

- 北海道・札幌の国際競争力をけん引し、その活力を展開させる「起点」の形成
- ◎ 道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と高次都市機能・交通結節機能の強化

**取組の骨子**

- 駅前広場や北5西1、北5西2街区の一体的な整備による、札幌のシンボルとなる拠点の形成
- 北海道新幹線札幌開業を見据えた、都心の起点となる一大交通拠点の形成

### ● 北三条通 ～うけつぎの軸～

**展開指針**

- 札幌発展の歴史・文化を活かした街並み、空間の形成とその活用
- ◎ 北3条広場を起点としたパブリックスペースの連鎖を生み出す空間の創出と活用の促進

**取組の骨子**

- 既存の歴史的資源やイチョウ並木などの特徴的な景観を活かした、市街地再開発等の動向と連携した滞留空間・交流の創出により、奥行きのある軸空間を形成

### ● 大通・創世交流拠点

**展開指針**

- 質の高い文化的なライフスタイルを支える機能・空間の形成
- ◎ 骨格軸を介した東西・南北市街地の連携・結びつきの強化

**取組の骨子**

- 観光・交流資源を活かした空間・にぎわいの連鎖・連携
- 創成川東西の市街地の連携強化と創成東へのゲートとなる空間の整備

### ● 大通 ～はぐくみの軸～

**展開指針**

- 札幌のまちを形成する根幹となる歴史を備える東西軸として、潤いあるみどりを中心に、札幌の都市文化・新たな価値をはぐくむ空間の創出
- ◎ 創成川以西のにぎわいを創成川以東まで波及させる連続性のある空間形成

**取組の骨子**

- 西11丁目周辺と創成東地区を結び、駅前通と交差する東西軸として、各エリアに固有の歴史・文化・集客資源等への人々の流動を生み出す回遊性の高い移動空間を強化
- 土地利用更新等を通じたみどりの強化、回遊空間の強化に伴い、創成川以西・以東の連続性を向上

### ● 創成川通 ～つながりの軸～

**展開指針**

- 広域からの都心アクセスを支えるとともに、豊かな環境を活かした市民の交流・つながりを創出
- ◎ 広域交通ネットワーク機能の強化

**取組の骨子**

- 札幌の広域的なネットワークの一翼を担う幹線道路として、都心と高速道路間のアクセス強化

### ● 東四丁目線 ～いとなみの軸～

**展開指針**

- 創成東地区の職・住・遊を支える多様な機能の複合化と、創成イースト南北の回遊性の向上を支える通りの形成
- ◎ まちづくりと連動した道路空間の活用検討の推進

**取組の骨子**

- 通りの課題である線形を解消し、沿道と一体的な街並み形成、機能誘導を図り、創成東地区まちづくりの基軸にふさわしい空間形成を推進
- 歩道空間の多様な活用により、まちの中心軸として、まちづくり活動が表出する街並み形成を推進

# 交通体系の基本的考え方 ～地域特性に応じた交通体系の構築～

## (2) 地域交流拠点

### ① 基本的考え方

下線部：部会での主な意見を反映している箇所

#### 現状・課題

- 地下鉄駅周辺等の利便性の高い地域において、後背圏の広がりに応じて地域の豊かな生活を支える中心的な役割を担う
- 都市機能の集積の度合いや生活利便性は拠点によって異なる
- 立地適正化計画では、多くの市民が利用する公共施設を誘導する「都市機能誘導区域」として、地域交流拠点周辺エリアを設定

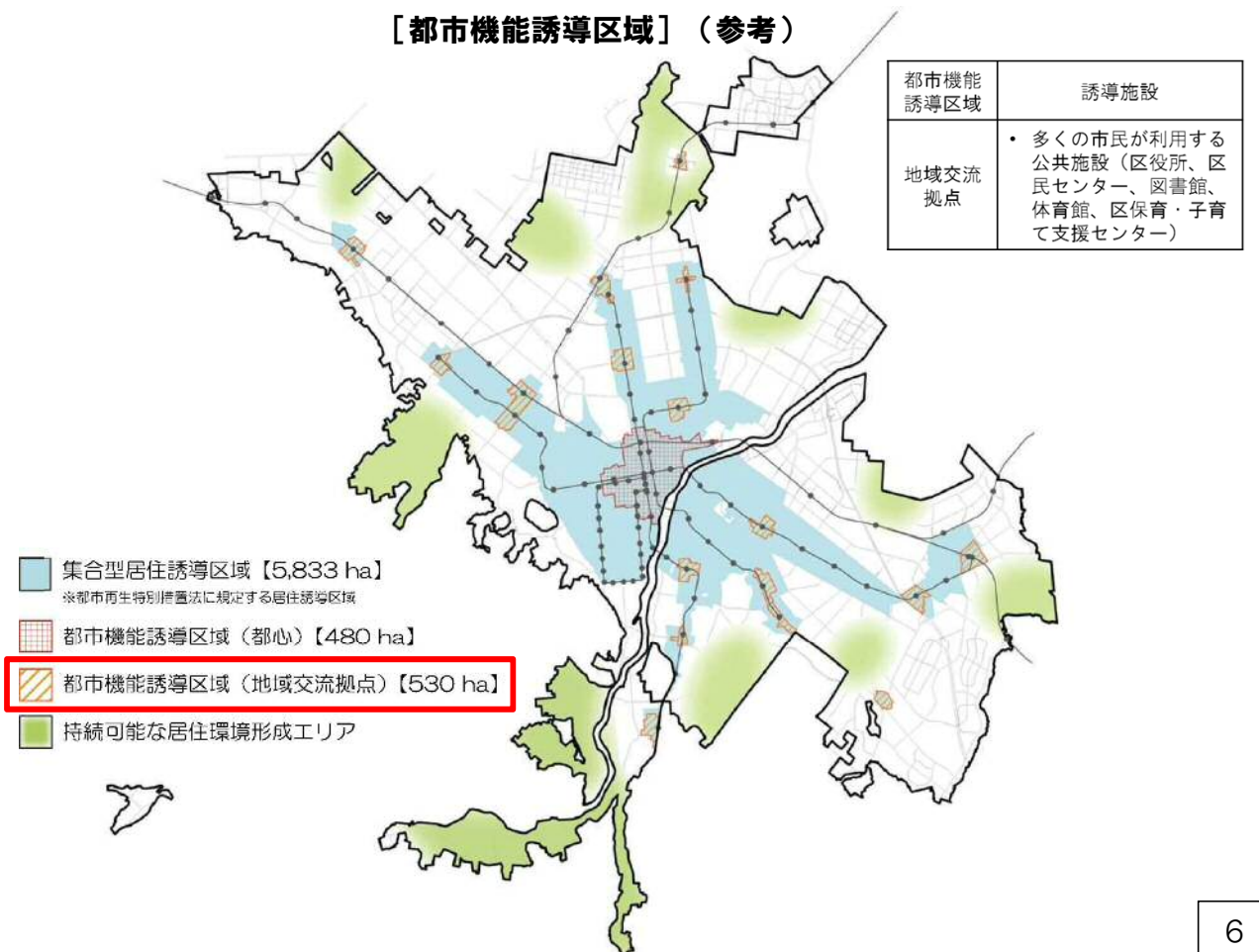
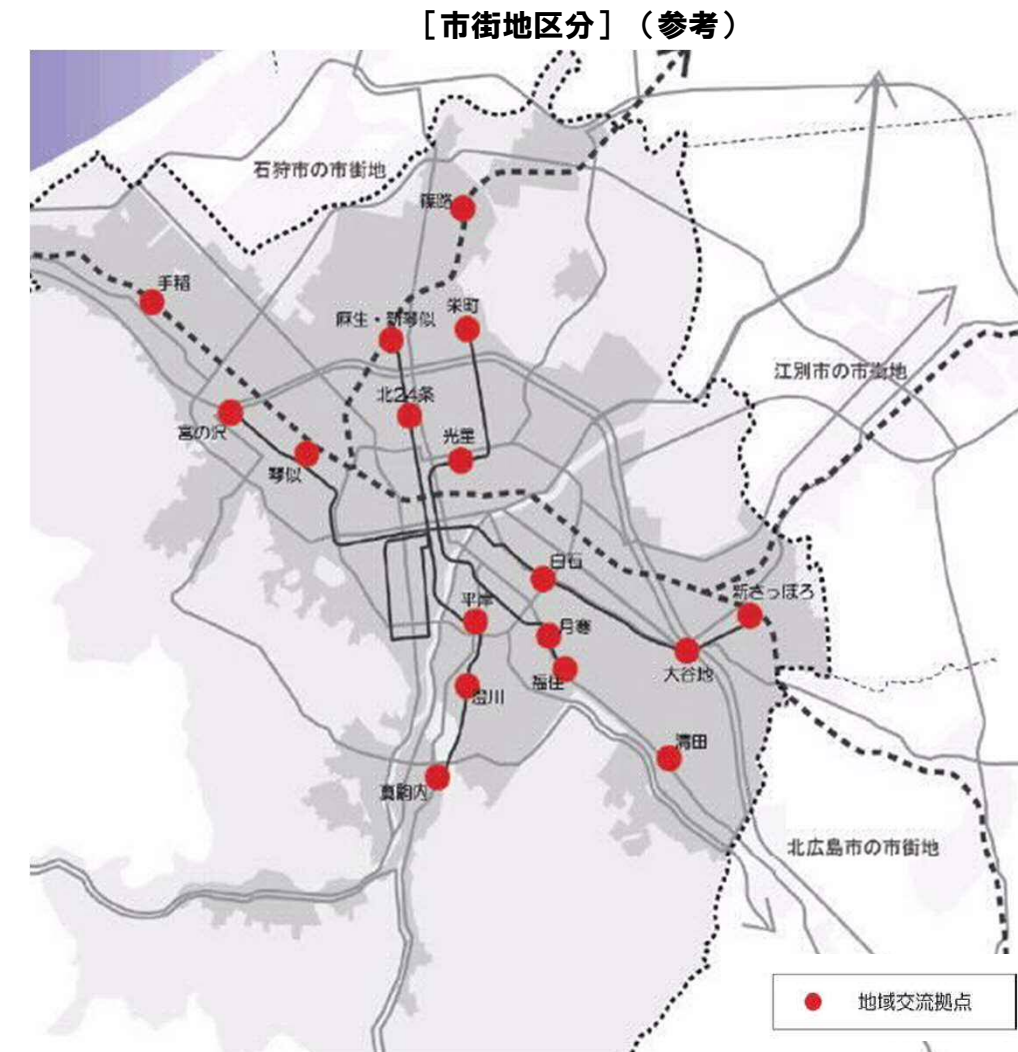
#### 今後の方向性

- 民間の開発やまちづくりの機会等を捉え、各拠点の特性に応じ、乗継・移動環境の向上や安全で快適な歩行環境の確保を図るなど、まちづくりと交通が連動して拠点としての機能・魅力をさらに高めていく

### ② 拠点に求められる交通機能・取組

方向性	求められる交通機能・取組
乗継・移動環境の向上	• バスターミナルや駅前広場の整備等により、 <u>複数の交通機関を円滑に接続する乗継機能の確保</u>
	• <u>旅客施設のバリアフリー化や交通案内情報の充実等により、誰もが利用しやすい移動環境を整備</u>
	• バスやタクシー等へ乗り継ぐ際の待合空間の整備など、 <u>待合環境を向上</u>
安全で快適な歩行環境の確保	• 歩道のバリアフリー化や民間開発と連携した歩道状空地・広場の確保等により、 <u>にぎわいを感じながら安心して歩くことができるゆとりある歩行空間を形成</u>
	• 空中歩廊や地下鉄駅との接続等により、 <u>季節や天候を問わず快適に移動できる歩行空間を形成</u>
	• 地下鉄・JR駅周辺において、 <u>駐輪場の整備や自転車の通行空間の明確化などを行い、歩行者や自転車が安全に移動できる空間を形成</u>

### ③ 概況図



# 交通体系の基本的考え方 ～地域特性に応じた交通体系の構築～

## (3) 郊外住宅地

### ① 基本的考え方

#### 現状・課題

下線部：部会での主な意見を反映している箇所

- 市街化区域のほぼ全域において、地下鉄、JR、路線バスなどの公共交通による移動が可能となっており、特に郊外部では路線バスにより地域の移動が支えられている
- 近年、公共交通の利用者数は緩やかに増加しているが、今後は人口減少やバスの乗務員不足など、路線バスを取り巻く環境の悪化が懸念される
- 立地適正化計画では、開発時期の古い郊外住宅地の一部において、今後も生活利便性・交通利便性を確保しつつ、持続可能な地域コミュニティの形成を目指すエリアを「持続可能な居住環境形成エリア」に設定

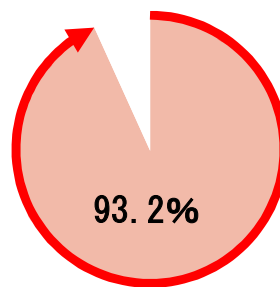
#### 今後の方向性

- 現状のバス路線の適切な維持を基本とし、バス事業者と行政、地域住民の協力のもと地域の移動を支えるバス路線の確保を図る
- 移動の需要が少なくなるような地域では、これまでの枠組みにとられない交通のあり方を検討
- 長期的には、限られた運転人員で効率的な運用を可能にするバス路線を検討

### ② 概況図

#### 【市内バス鉄道カバー圏】

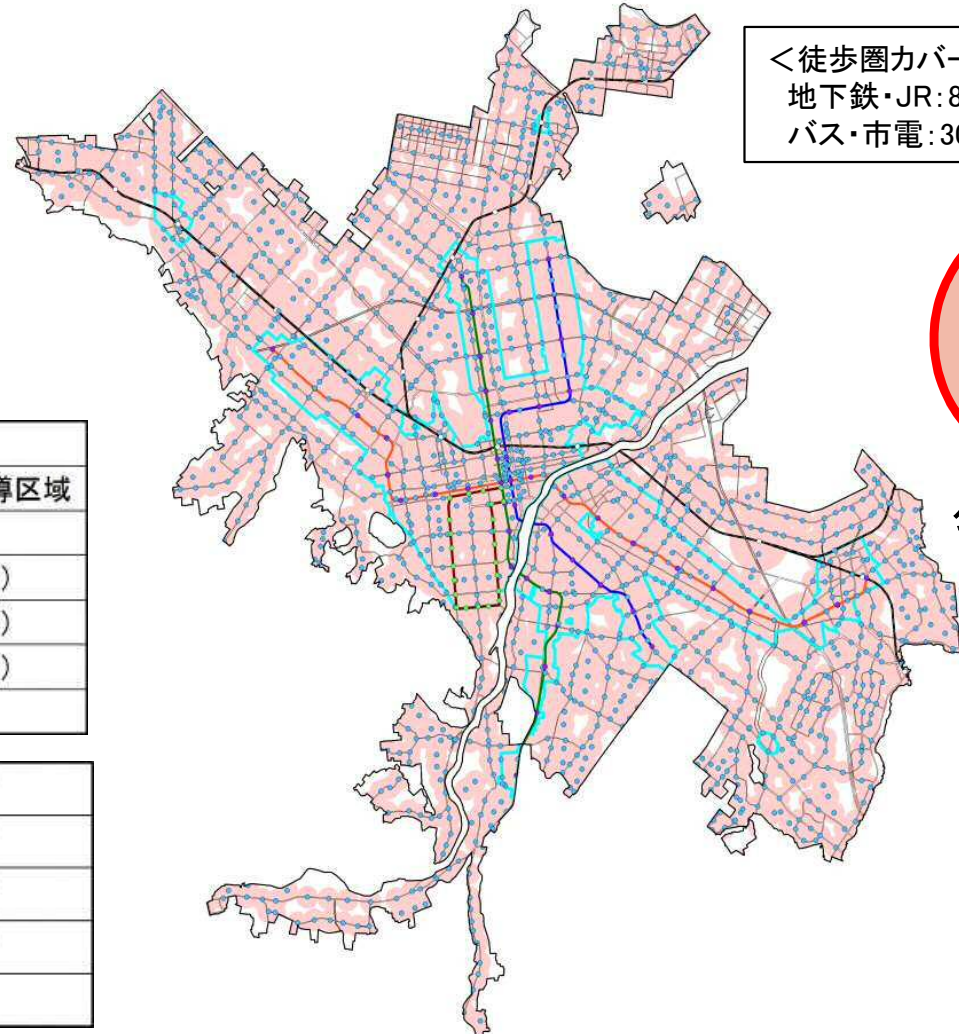
<徒歩圏カバー区域の設定>  
地下鉄・JR: 800m  
バス・市電: 300m



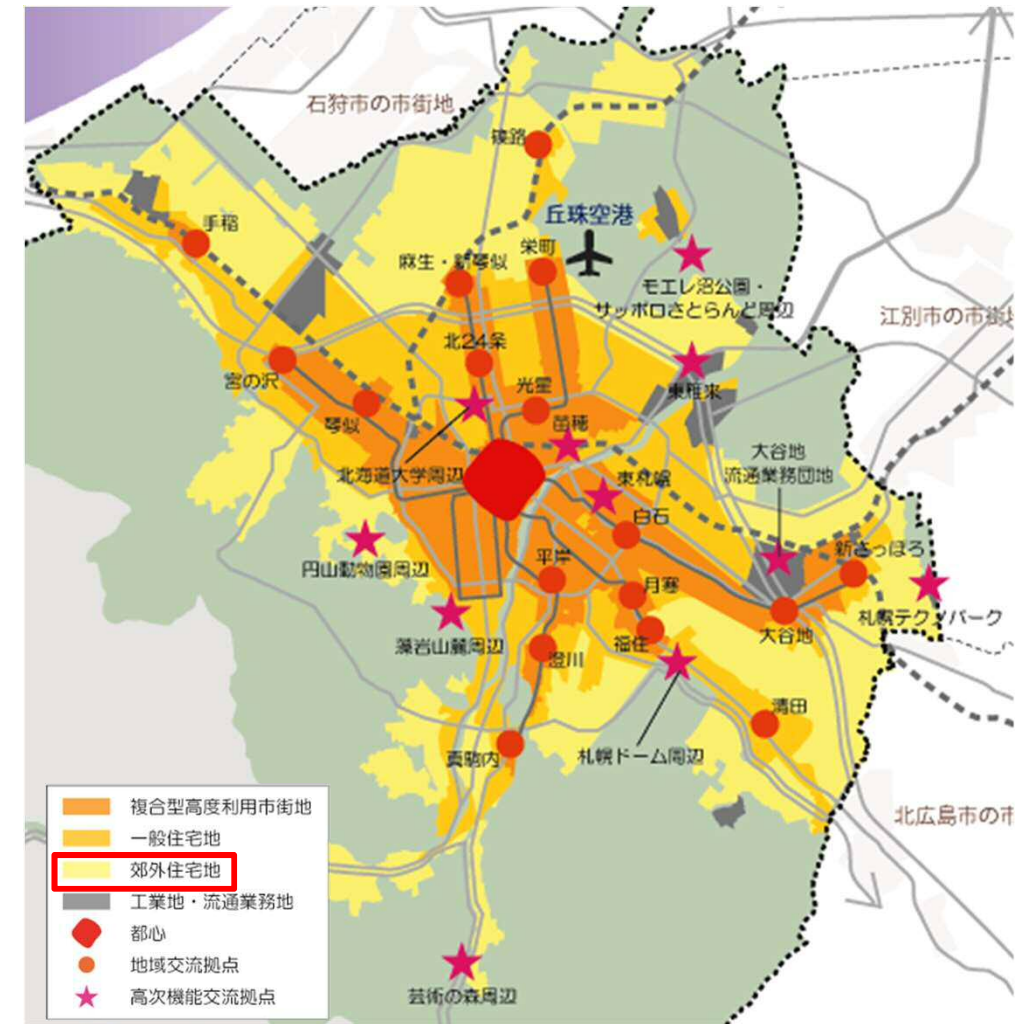
公共交通徒歩圏  
人口カバー率

	市街化区域
	集合型居住誘導区域
	JR
	地下鉄(南北線)
	地下鉄(東西線)
	地下鉄(東豊線)
	市電

	公共交通沿線地域 (JR)
	公共交通沿線地域 (地下鉄)
	公共交通沿線地域 (バス)
	公共交通沿線地域 (市電)
	徒歩圏カバー区域



#### 【市街地区分】(参考)



#### 【持続可能な居住環境形成エリア】(参考)

